

令和7年2月 斐伊川水系水質情報

令和7年2月(宍道湖12日・中海15日採水)					単位:mg/l(Chl-a: µg/l)					
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.4	△	平年並み	3.1	△	平年並み	3.3	○	やや低い
全窒素	上層	0.46	△	平年並み	0.32	○	良好(平年並み)	0.48	△	平年並み
全リン	上層	0.047	△	平年並み	0.026	○	良好(平年並み)	0.042	△	平年並み
Chl-a	上層	10	△	平年並み	7.0	△	平年並み	15	△	平年並み
塩化物イオン	上層	2,680	△	平年並み	9,850	△	平年並み	9,150	△	平年並み
	下層	2,730	△	平年並み	14,100	○	やや低い	10,400	△	平年並み
溶存酸素	上層	12.5		平年並み	12.4		やや高い	12.7		やや高い
	下層	12.5		やや高い	10.7		かなり高い	13.1		やや高い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.7	横ばい	3.8	下降	10.8	下降
全窒素	上層	0.39	やや上昇	0.33	横ばい	1.33	下降
全リン	上層	0.040	横ばい	0.026	横ばい	0.140	下降

宍道湖の透明度は1.3mから1.4mと横ばいで、平年並み。中海の透明度は2.2mから2.4mと横ばいで、平年並み。米子湾の透明度は0.2mから2.2mと上昇し、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★ <非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆ <かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	× <やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△ <平年並み> ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○ <良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎ <かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化… 横ばい

平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ 99.7%